

自己評価書
(平成23年度)

平成24年3月

鳴門教育大学附属特別支援学校

I 学校の現況及び目的

1 現況

- (1) 学校名 鳴門教育大学附属特別支援学校
- (2) 所在地 徳島市上吉野町2丁目1番地
- (3) 学級等の構成
小学部 3学級（複式）
中学部 3学級
高等部 3学級
- (4) 児童生徒数及び教員数（平成22年5月1日）
小学部 18人，中学部 18人，高等部 24人
児童生徒数 60人
教員数 29人（正規教員）

2 目的

(1) 目的・使命

本校の目的は、附属特別支援学校校則第1条において「知的障害及び自閉症の児童生徒に対して、小学校、中学校及び高等学校に準ずる教育を施し、あわせて障害による学習上又は生活上の困難を克服し自立を図るために必要な知識技能を授ける」と定めるとともに、同条第2項では「幼稚園、小学校、中学校及び高等学校の要請に応じて、幼児、児童又は生徒の教育に関し必要な助言又は援助を行うよう努める」と定めている。

また、校則第1条には「鳴門教育大学（以下「本学」という。）における児童及び生徒の教育に関する研究に協力し、かつ、本学の計画に従い学生の教育実習等の実施に当たることを目的とする。」と定めており、具体的には教員養成大学の附属特別支援学校として、次のような使命をもった学校でもある。

- ①大学と一体となって、教育の理論及び実践に関する科学研究を行う研究学校としての使命
- ②地域の教育課題の解明、参観者への指導・助言、文部科学省・県教委・地峡委等からの要請による教員派遣など、教育界の発展に寄与する使命
- ③鳴門教育大学の学部学生及び大学院生の教育実習等を行う使命

(2) 教育目標

本校は、校則第1条に示されている目的の達成

のため、学校として、また学部としてそれぞれ次のような教育目標を掲げている。

- ①明るい性格と豊かな人間性を育てる。
- ②日常生活に必要な習慣や態度を養う。
- ③生活を高めるため、知識・技能・態度を育てる。
- ④強靱なからだと意志を養う。
- ⑤集団生活への適正能力を育てる。

（小学部）

- ①明るくやさしい心を育てる。
- ②日常の基本的な生活習慣や態度を養う。
- ③言語や数量などの基礎的な能力を養う。
- ④じょうぶな身体をつくる。
- ⑤校内を主とした集団での生活に参加できるようにする。

（中学部）

- ①身体の健康及び思春期の不安定さに配慮しつつ、生徒自身が心理的に安定した状態で安全な生活を送る。
- ②自分や他者にとってよりよい結果を得るために、行動する。
- ③認知・学習、運動・体力のそれぞれの知識や技能の向上を図るとともに、場面や状況に合わせた態度の育成を図る。

④個々の「参加」の質を高めるために、学習で身につけた知識・技能・態度を実際の家庭生活・地域生活・労働生活に発揮する。

（高等部）

自立した社会生活に必要な知識や技能を習得し、家庭生活や職業生活の中での実践力を身につける。

- ①健康な身体と強い意志力を育てる。
- ②将来の社会生活に必要な生活技能や言語、数量に関する能力を養う。
- ③進んで働く意欲と集中力仕事に対する責任感を養う。
- ④集団生活を通して、青年期の豊かな心情と社会性を育てる。
- ⑤自ら楽しむ豊かな余暇生活を創造する力を養う。

での教育目標に基づき、それぞれ次のように「めざす子ども像」を明確に示している。

○明るく、仲よくできる子ども

○じょうぶで、元気な子ども

○よく働く子ども

○力いっぱいがんばる子ども

(小学部)

○やさしい子

○元気な子

○自分からする子

○がんばる子

(中学部)

○健康な身体と健全な心を持つ生徒生徒

○周りの人に自分から意志を伝え、係わりあえる生徒

○学びや体験をとおして「分かる」「できる」「こうすればいい」ことを自分から見つけられる生徒

○自分の興味や関心、楽しみを広げ、様々な生活場面に参加できる生徒

(高等部)

○自分と仲間を大切にする生徒

○何事にも生き生きと取り組む生徒

○意欲的に働く生徒

○自ら生活を楽しむ生徒

平成23年度重点課題

①わくわくする授業づくり

②保護者との連携強化

③危機管理対策の見直し

